



# MEDTEC メドテック

## Japan

### 2015

東京ビックサイト  
2015年4月22日~24日



①東京理科大学発のベンチャー、イノフェス社が開発したマッスルスーツ。人工筋肉によって物の上げ下ろし動作を補助し、腰を保護することができる。オペレーションはタッチセンサーの他、息を吹き込んで行ったりと独特。1着あたり数十万円だが、すでに700着オーダーが入っているという人気。会場でも試着待ちの列ができていた。②リュックのように背負うシンプルな構造。試作段階では腕部のサポートなどもあったそうだが、この仕様で落ち着いたという。③これが人工筋肉。両端をかしめ、ナイロンメッシュを巻いたゴムチューブへ圧縮空気を注入して、その膨張力が長さ方向への収縮へ向かい引っ張る力を生む。

## マッスルスーツ、瞬着!



4月22日~24日にかけて東京ビックサイトで行われたMEDTEC Japan 2015は、医療機器の設計・製造に関する展示会。医療用エレクトロニクス展、医療ICT・在宅医療展、検査キット完成品&開発展、そして介護・福祉ロボット&機器開発展の4つが併催される非常に大規模なものだ。

医療機器とはいえ、「機器の設計・製造」の展示会なので、デンソーや川崎重工など自動車産業などでも知られた(部品)メーカーの出展も多い。その他には、研究を兼ねた大学

系のベンチャー企業も目立った。それに加えてそういった製品づくりを支える地方色豊かな地場産業ブースのエリアもあった。

しかし、現在の日本の医療機器は大幅な輸入超過の状況にある。自動車やその他工業製品に強いというイメージ(少し崩れつつはあるが)からは少し意外だが、日本の医療産業は医薬品が牽引しており、薬事法をはじめとしたさまざまなものが医療機器器具産業のネックになっている。地力はある(ハズ)なのだし、今後の改革と発展に期待したいところだ。